第 3 章　川崎遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は 400 ～ 500 m、台地の基部から先端へ 1 km にわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で 18 m、最北部では 8 mを測る。遺跡の範囲は南北 600 m、東西 500 m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正 6) 年頃、台地の先端部で貝層が確認され 1928(昭和 3) 年の調査では川崎貝塚として報告された。1967 年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、1980 年以来 2015 年 11 月末現在 43 ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。

第 5 図　川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第７表　川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 （ ）は試掘調査	面積 （㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎160	(1974.3.25～4.4)	84	事前調査	炉穴3、土坑2、ピット群、縄文土器、石器	上遺調
1次	川崎162～176	1974.7.20～9.19	1,800	事前調査	住居跡11（縄文前期3、古墳前期1、国分7)、溝3、堀2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎遺跡 第1次調査概報
緊急発掘調査	大字川崎字宮後168-3	1975.3.30～5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰釉陶器・布目瓦・瓦塔	上遺調
宅地添1次(A地区)	大字川崎字宅地添122	1975.6.8～29	50	個人住宅	縄文早期住居跡1、縄文土器、石器、礫	上遺調
2次	川崎137～174	1975.9.4～12.5	3,055	事前調査	縄文住居跡9、古墳住居跡6、奈良平安住居跡10、中世遺構他	川崎遺跡 第2次調査概報
3次	川崎149-6	1977.11.1～12.3	300	住宅建設	縄文住居跡2（7,8)、奈良平安住居跡6（1,2,4～6,9)、焼土散布、柱穴、溝	川崎遺跡（第3次)・長宮遺跡
宅地添2次(B地区)	川崎198	1978.5.15～25	170	宅地造成	土坑3、ピット	埋(Ⅰ)
宅地添3次(C地区)	川崎230	1978.5.23～31	130	宅地造成	井戸2、地下坑1、溝1	埋(Ⅰ)
4次	川崎2-5-2	1979.4.19～5.11	304	宅地造成	縄文前期住居跡1、溝1、黒浜式土器、貝類	埋(Ⅱ)(Ⅳ)
5次	川崎1-1-4	1979.9.26～10.10	152	宅地造成	溝状遺構	埋(Ⅱ)
79年度試掘(清見)	清見4-3-11	(1979.11.12～19)	260	宅地造成	溝1	埋(Ⅱ)
6次	川崎102-5	1979.12.3～8	30	プレハブ家屋	縄文前期住居跡2、平安住居跡2、縄文土器片	埋(Ⅱ)
7次	川崎124-3	1981.11.27～30	316	個人住宅	遺構なし、平安土器片	埋(Ⅳ)
8次	大字川崎字宮脇148-1	1984.1.17～26	400	住宅建設	溝1	埋(Ⅵ)
宅地添4次	川崎宅地添219	1984.9.25～10.9	301	住宅建設	縄文住居跡1、平安住居跡1	埋(Ⅶ)
9次	川崎字宮後口172-1、2	1986.9.11～20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安土器散布	埋(Ⅸ)
10次	川崎224-1	1987.11.24～30	603	個人住宅	溝1	埋(Ⅹ)
11次	川崎2-6-2	1988.5.10～17	289	住宅建設	なし	埋(11)
88試	市道402号線	(1988.9.19～21)	60	下水道設置	住居跡1	埋(11)
89試(1)	川崎字宅地添196-1	(1989.4.10～18)	1,045	住宅建設	なし	埋(12)
89試(2)	川崎字宮前98-2	(1989.10.3～6)	264	住宅建設	なし	埋(12)
12次	川崎字宮前149-4、5	1990.4.20～27	311	住宅建設	溝2	埋(13)
13次	大字川崎字宮前122	1990.5.1～17	480	住宅建設	奈良住居跡1	埋(13)
90試(1)	大字川崎字宮前122	(1990.5.18～23)	530	範囲確認	なし	埋(13)
14次	大字川崎字宮前145	1990.10.1～31	499	住宅建設	縄文前期住居跡1、貝塚、平安住居跡1	埋(13)
15次	川崎字宮後口160-1	1991.10.23～11.20	499	個人住宅	平安住居跡7、土坑1	埋(14)
92試(1)	大字川崎字山向9-5	(1993.2.18～19)	168	店舗併用住宅	なし	埋(15)
93試(1)	川崎2-2-10、11	(1993.8.24)	131	個人住宅	なし	埋(16)
93試(2)	川崎1-1-1の一部	(1993.9.10～13)	422	個人住宅	なし	埋(16)
94試(1)	川崎字台258他1筆	(1994.11.17～24)	230	機材置場敷設	なし	埋(17)
95試(1)	川崎2-7-2、3	(1995.10.13～16)	1,126	消防署	なし	埋(18)
16次	川崎字宮脇150-2、3	1995.12.11～1996.3.8	828	駐車場及び資材置場敷設	縄文前期(黒浜期)大形住居跡1、同期住居跡2・土坑2、平安住居跡4・掘立柱建物跡6、中世竪穴状遺構2	7年教要
17次	川崎字宅地添204の一部	1996.7.15～23	779	個人住宅	平安住居跡1	埋(19)
18次	川崎字宮脇148-3	1996.11.18～25	198	個人住宅	平安住居跡1	埋(19)
97試(1)	川崎字山向21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(時期不明)	埋(20)
97試(2)	川崎字宮後口165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	なし	埋(20)
97試(3)	川崎字宅地添199-1、2、5	(1998.2.12～16)	780	個人住宅	なし	9年教要
98試(1)	川崎字宅地添197-1	(1998.10.27～11.6)	996	宅地造成	縄文前期土坑1他	埋(21)
市道402号線2次	川崎字宮前,宮脇地内	2000.2.21～25	496	道路築造	縄文前期住居跡1	11年教要
00試(1)	川崎大字宅地添209の一部	(2000.6.19～22)	123	個人住宅	貝塚の一部	埋(23)
範囲確認調査	川崎字宅地添209	(2001.6.12～25)	100	車庫	溝1	埋(24)
19次	川崎字宮脇157の一部	2001.9.18～10.4	289	個人住宅	平安初頭住居跡1	埋(24)
01試(1)	川崎字宅地添204-1	(2001.10.29,30)	825	宅地造成	なし	埋(24)
02試(1)	川崎249-1の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	なし	埋(25)
02試(2)	川崎210-1、2の一部	(2002.10.28,29)	551	共同住宅	溝1【盛土保存】	埋(25)
02試(3)	川崎2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	なし	14年教要
02試(4)	川崎2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	なし	14年教要
02試(5)	川崎字宮脇155先	(2003.3.26)	164	市道401号線舗装工事	なし	14年教要
03試(1)	川崎137-1の一部	(2003.8.6,7)	257	個人住宅	なし	埋(26)
03試(2)	川崎字宅地添226-14	(2003.12.8,19)	381	個人住宅	なし	埋(26)
宅地添地区5次	川崎字宅地添222-3先	2004.2.16～18	88		古墳初頭竪穴住居跡1【調査実施】	15年教要
04試(1)	川崎字宮脇157-1の一部	(2004.6.14,15)	421	個人住宅	平安時代竪穴住居のカマドの一部	埋(27)
04試(2)	川崎2-5-1	(2004.11.1～4)	881	宅地造成	なし	埋(27)
20次	川崎字宮脇153-5	2005.11.28～12.2(11.22～27)	257	個人住宅	古墳住居跡1	市内1
21	川崎1-6-10	(2006.4.11) 2006.4.14～20	298	個人住宅	奈良住居跡1、溝	市内3
22	川崎171-1、174-10	(2007.4.16～23)	104	消防分団倉庫	炉穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内4
24	川崎字宅地添225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	なし	市内4
25	川崎字宅地添203-1の一部、203-3の一部	(2008.4.14) 2008.4.15～17	1,033	個人住宅	奈良時代掘立柱建物跡1、溝、近代以降の地下室1	市内6
26	川崎字宅地添230-5	(2008.4.21) 2008.4.22～5.17	228	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4、土坑、ピット、近代以降の井戸1	市内6
27	川崎1-7-1	(2008.5.15～5.21)	350	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内6
28	川崎字宅地添230-7	(2008.7.4～7.9) 2008.7.10～8.8	434	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2、土坑、ピット	市内6
29	川崎字宅地添230-1	(2008.7.9～7.11) 2008.7.14～8.22	203	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2、溝3	市内6
30	川崎字宅地添230-6	(2008.7.17) 2008.7.18～9.5	200	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4、井戸3、土坑、溝5	市内6
31	川崎字宮後161-5の一部、161-6	(2009.10.28) 2009.10.28～11.27	304	個人住宅	縄文時代中期～後期住居跡2、奈良・平安時代竪穴住居跡2、ピット12	市内8
32	川崎字宮脇140の一部	(2011.2.24～25) 2011.3.2～25	396	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡3、土坑2、建物部分本調査	市内10
33	川崎字宅地添226-5	(2011.4.14～21)	438	共同住宅	なし	市内14
34	川崎2丁目5-4	(2011.7.25～26)	118	分譲住宅	なし	市内14
35	川崎2丁目6-4～7、9	(2011.9.27～11.24)	1,924	分譲住宅	縄文時代前期(黒浜期)住居跡1、奈良平安時代住居跡1他	市内14
36	川崎字宮前100-1	(2011.12.15～26) 2011.12.26～2012.1.17	1,096	公園整備	奈良平安時代住居跡6他	市内14
37	川崎宅字地添232-1	(2012.9.3)	1,298	個人住宅	須恵器片、遺構なし	市内15
38	川崎字宮後165-3	(2013.2.25) 2013.2.26･27	176	個人住宅	縄文焼土跡2･中世以降ピット5	市内15
39	川崎字宅地添227-1	2013.3.4～5	1,121	個人住宅	遺構なし、縄文土器、土師器、須恵器、焙烙	市内15
40	川崎1丁目1-7	(2013.10.11～21)	447	共同住宅	なし	未報告
41	川崎字山向10-4の一部	(2014.9.8)	120	個人住宅	なし	未報告
42	川崎宅地添233-3	(2015.6.26～7.2)	200	川崎集会所	平安時代住居跡1、須恵器、土師器	未報告
43	川崎字宮後165-5･8･9	(2015.6.26)	175	個人住宅	なし	未報告

※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書

第 6 図　川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)

Ⅱ　川崎遺跡第 37 地点

（１）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2012 年 7 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2012 年 9 月 3 日、幅約 1m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。試掘調査の結果、遺構が確認できなかったので、慎重工事の措置とした。地表面から遺構確認面までの深さは約 40 ㎝である。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

（２）遺構と遺物

【出土遺物】(第 7 図 1)

1 は遺構外出土の須恵器坏の底部で、糸切痕を有する。推定底径 5.8cm。

Ⅲ　川崎遺跡第 38 地点

（１）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2012 年 12 月 26 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡西部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2013 年 2 月 25 日、幅約 1 mのトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。試掘調査の結果、一部で焼土や遺構覆土を検出したため、発掘調査の措置とした。地表面から遺構確認面までの深さは約 50 ㎝である。

本調査は翌 26・27 日に行い、縄文時代の焼土跡 2 基とピット 5 基を調査した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

（２）遺構と遺物

【焼土跡】2 ヶ所検出した。地山ローム面が焼け赤化する。規模は第 8 表参照。

【ピット】5 基検出した。P2 は P1 より新しい。

【出土遺物】(第 7 図 1・2)

1 はピット 2 出土の縄文土器片で摩滅著しい。2 はピット 3 出土のカワラケで胎土に細かな金雲母を含み内外面に煤が付着する。

Ⅳ　川崎遺跡第 39 地点

（１）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2013 年 2 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2013 年 3 月 4 日から 5 日まで、幅約 1m のトレンチ 4 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。試掘調査の結果、遺構が確認できなかったので、慎重工事の措置とした。地表面から遺構確認面までの深さは約 60 ㎝である。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

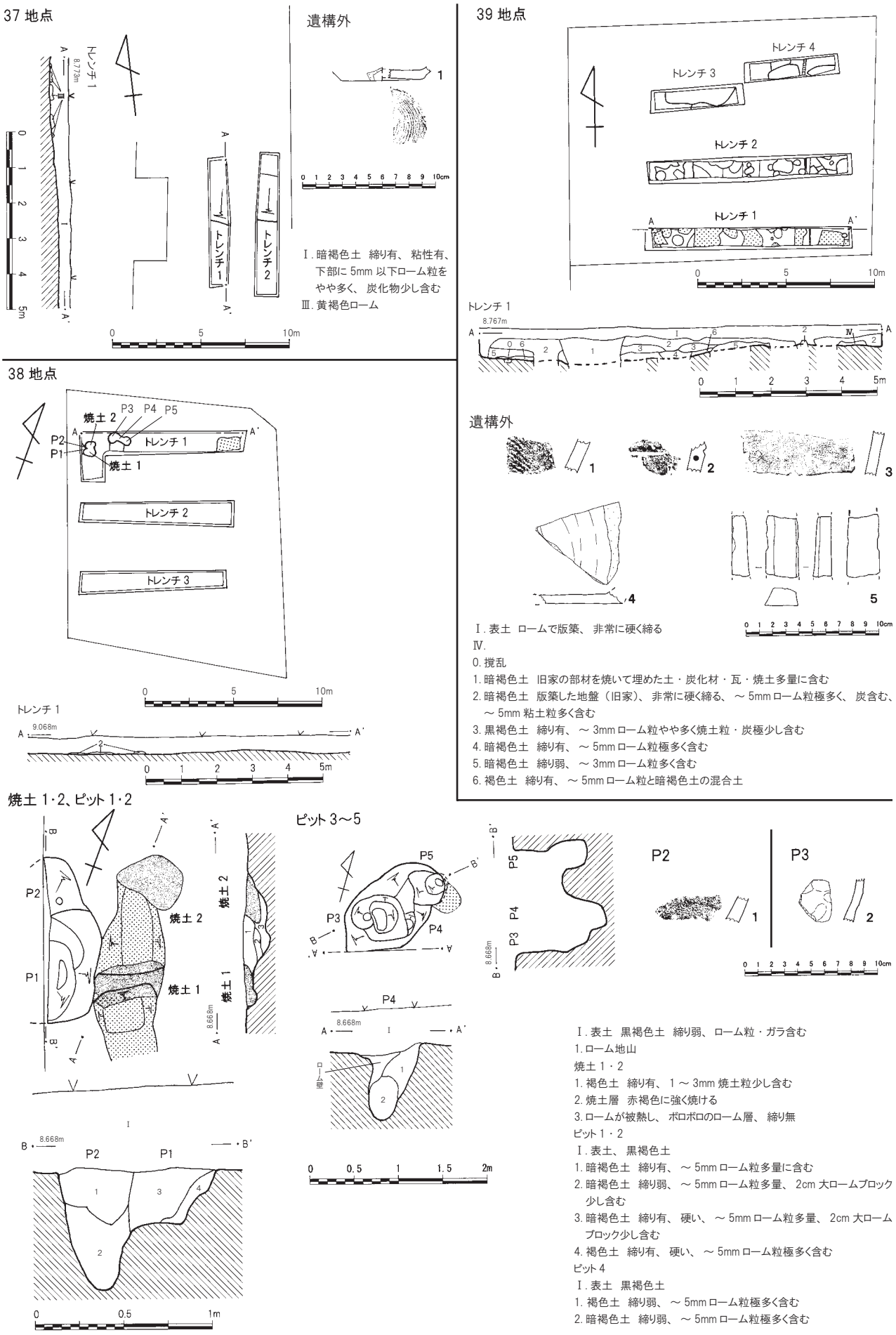
（２）遺構と遺物

【出土遺物】(第 7 図 1 ～ 5)

1 は無節 Lr 縄文。2 は胎土に金雲母を含み、断面三角形の低い隆帯脇に沈線を施す。3 は須恵器甕の胴部片。4 は焙烙の底部である。5 は火成岩の砥石で、重さ 24.35g である。全て遺構外出土である。

第 8 表　川崎遺跡第 38 地点焼土・ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
焼土1	方形	80×40	—	6.3	
焼土2	方形	70×48	—	0.5	
P1	不明	119×64	33×8	67.8	
P2	不明	(65)×(55)	7×5	26.7	
P3	不明	62×(42)	16×(16)	39.1	
P4	不明	118×102	52×27	50.8	
P5	不明	75×70	20×15	86.1	



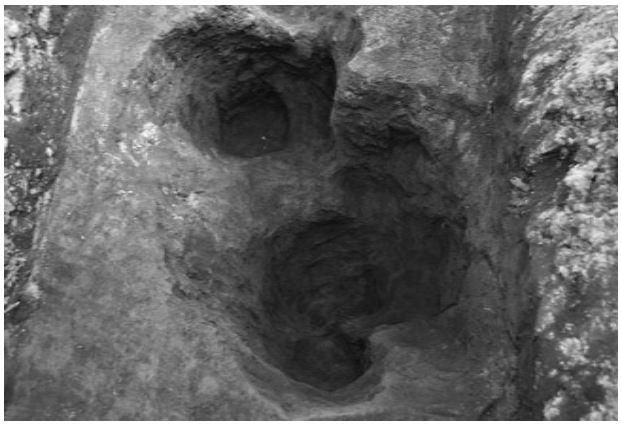
第 7 図　川崎遺跡第 37 地点調査区域図 (1/300)、第 38 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、焼土・ピット 1・2(1/30)、ピット 3 ～ 5(1/60)、出土遺物 (1/4)

川崎遺跡第 37 地点調査風景

川崎遺跡第 37 地点トレンチ 1

川崎遺跡第 38 地点調査風景

川崎遺跡第 38 地点ピット 3 ～ 5



川崎遺跡第 38 地点焼土 1・2、ピット 1・2

川崎遺跡第 39 地点トレンチ 1

川崎遺跡第 39 地点トレンチ 2